

2025年度 第2回明石市文化財保護審議会 会議要旨

日 時	2026年2月28日(土) 午後2時00分～午後3時35分
場 所	明石市役所 南会議室棟 103 会議室
出席者	明石市文化財保護審議会委員 4名(うち会長1名) 事務局 4名 傍聴者 1名
配布物	・2025年度第2回明石市文化財保護審議会次第 ・2025年度埋蔵文化財発掘調査一覧 ・魚住文化財収蔵庫企画展「明石の古瓦展」チラシ

1. 開会

2. 議事

(1) 市指定文化財の指定について(答申案の検討)

・龍虎図

事務局より資料に沿って説明。

<主な意見>

・落款や印章も不自然ところはないように思われる。制作年代もわかる非常に貴重な資料である。指定は妥当である。

(2) 市文化財指定候補について

・松鶴図

事務局より資料に沿って説明。

・龍虎図のように落款がない。赤外線写真でも明確には確認できず、確実に幽汀筆との判断が難しい。

・他に客観的な資料が出てくれば、再度検討すべきと考える。同じ場所で明らかに幽汀筆というものがあればよい。今後も調査を継続して判断すべきでは。

⇒今後も調査を継続する。

3. 報告

(1) 文化財関係補助事業について

事務局より資料に沿って説明。

<主な意見>

・木造地藏菩薩坐像を修理する理由は？

⇒像の胴と膝部分が分離しているため所有者からの要望を受けて修理するもの。

・貞観時代の県指定や国指定になりうる貴重なものではないか。専門家の意見を聞いたうえで修理すべきでは。

⇒専門家の意見を聞いた上で判断することとする。

(2) 2025年度埋蔵文化財発掘調査事業について

事務局より資料に沿って説明。

<主な意見>

・太寺廃寺塔跡は、出土した螺髪が大きくて塔の中には入り切れない大きさになる。部分的にしか調査できていないので、調整して再度調査したら明確になるのでは。

⇒専門家に意見を聞いて、もう少し詳細に調査していくかどうかを検討していく。

(3) 新修明石市史の発行について

事務局より資料に沿って説明。

<主な意見>

・シンポジウムは大きな会場であったが、皆様にしっかり見ていただいてよかったのではないかと思う。講演も一般の市民の方にもわかりやすい話だったのではないか。

(4) その他

事務局より魚住文化財収蔵庫の「播磨の古瓦展」を説明。

4. 閉会